

特 別 講 演 抄 録

I. 虚血性心疾患における治療の発展

金 政 健

近畿大学医学部第1内科学教室

虚血性心疾患（狭心症，心筋梗塞）の最近の治療法の発展にはめざましいものがある。本邦における急性心筋梗塞の再灌流療法は経静脈血栓溶解療法のウロキナーゼの使用から始まり，組織プラスミノゲンアクチベーター（t-PA）の点滴静注，最近ではt-PA一回静注製剤が出現し，プレホスピタルケアに用いられる薬剤としての価値をもつにいたっている。

虚血性心疾患の治療における新しい展開は，バルーンカテーテル，ステントなどの経皮的冠動脈形成術の発展がある。これは，開胸手術の必要がなく冠動脈狭窄を解除するバルーンカテーテルに加えて，ステント，DCA，ロタプレーターという new device が発展をとげた。しかし，バルーンカテーテル法の問題点として慢性期の再狭窄率が高いことがあげられる。再狭窄とは，冠動脈狭窄を解除後，再び慢性期に狭窄が生じることをいう。再狭窄の機序は，PTCAによる内膜や中膜の傷害部位で慢性期に内膜過形成が起こり，内腔が再び狭くなることと，伸展した血管が慢性期までに recoil をおこし血管が縮小するためと考えられている。

冠動脈硬化の診断法としての光ファイバー血管内視鏡や血管内超音波法の進歩が，虚血性心疾患の診断・治療に役立っている。光ファイバー血管内視鏡は，微細な光ファイバーを用いて冠動脈病変部を肉眼病理学的に観察し，動脈硬化部の黄色アテローマや，白色アテローマを検出する。黄色アテローマは脂質に富んだアテローマで，容易に破裂するアテローマであり，不安定プラークといわれている。また，急性心筋梗塞発症時にみられる冠動脈内血栓の赤色血栓や白色血栓の鑑別は治療法の選択に重要である。赤色血栓は，主に赤血球とフィブリン，白色血栓は血小板とフィブリンからなっている。

冠インターベンションによる局所的な冠動脈狭窄の解除のみでは有効ではない全身の疾患としての動脈硬化症を原因とする虚血性心疾患の治療には， β 遮断薬，抗血小板薬，高脂血症治療薬服用が有効である。高脂血症治療薬の不安定プラークを安定プラーク化， β 遮断薬の心臓保護作用，抗血小板薬の抗血栓作用により，心筋梗塞患者の心事故を予防する，すなわち，これらは心筋梗塞の2次予防に極めて有効な薬剤である。

II. 骨粗鬆症の疫学と予防の戦略

伊 木 雅 之

近畿大学医学部公衆衛生学教室

高齢社会を迎えた日本にとって，高齢者の医療費や福祉関係費はすでに大きな社会的負担であるが，今後，その増大は必至である。健やかな老後の実現は単に個人の願望ではなく，社会全体の目標としなければならない。その意味で，骨粗鬆症は骨折を介して高齢者のQOLを損ない，いわゆる要介護老人の原因となる疾患として重要な対策目標である。その疫学像の解明や有効な予防策の開発を目指して演者らが行ってきた疫学研究から，大規模無作為標本調査 Japanese Population-based Osteoporosis Study (JPOS Study) を中心に報告する。

JPOS Studyでは，全国に分布する2市5町に在住する15～79歳の女性から5歳階級別に各50人，1地域650人，全体で4550人を無作為に抽出し，各部位のDual-energy X-ray absorptiometryによる骨量測定，Ca代謝関連ホルモンと骨代謝指標の測定，既往歴，家族歴，Lifestyle等に関する聞き取り調査，Ca摂取量調査等を行った。

受診者は3985人で，満足すべき受診率（87.6%）であった。これから骨代謝に影響する可能性のある疾患や薬剤投与のある者を除いた3466人を解析し，

その結果，以下の点が明らかになった。

1. 最大骨量は腰椎で30歳代後半，大腿骨頸部で10歳代後半，橈骨遠位1/3で20歳代後半に認められた。
2. 骨粗鬆症診断のためのWHO基準を用いた場合，基準BMD値 (g/cm^2) は腰椎で0.757，大腿骨頸部で0.536，橈骨遠位1/3で0.596であり，これを用いた50歳以上の分析対象群における骨粗鬆症の有病率はそれぞれ34.2%，11.4%，56.5%，50歳以上の日本人女性の骨粗鬆症推計有病者数はそれぞれ818万人，320万人，1300万人となった。
3. 最大骨量には，小・中学校の給食での牛乳の摂取，中学・高校の運動部所属，現在の運動習慣，現在の牛乳摂取，強い握力が，閉経後の骨密度には，現在の高い生活活動度，現在の牛乳摂取，強い握力が，それぞれ骨密度を高くする方向の有意な関連を示した。

今後，JPOS Study対象者の追跡調査を実施し，他の要因や遺伝要因とLifestyle要因との骨量への複合影響などを明らかにし，有効な骨粗鬆症1次予防策を開発していきたい。